

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 杏園会)
 事業所名 (介護老人保健施設かなやま)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 7 月 18 日	10	平成 29 年 7 月 18 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成 29 年 6 月 23 日 Wi-Fi 環境の整備。平成 29 年 7 月 3 日眠り SCAN 設置。平成 29 年 7 月 18 日運用開始。

- ① 利用者様の睡眠リズムを把握することにより、転倒・転落を 10%削減する。
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
- ③ 夜勤職員のストレス及び業務量軽減

上記を目標とし運用を開始した。

使用対象者：当機器を使用する事により睡眠状況の改善、事故防止に繋がると考えられる方に常時変更し使用している。

- ・認知症を含む疾患により転倒・転落のリスクの高い方
- ・夜間の尿失禁改善が必要な方
- ・看取りケアが必要となった方
- ・在宅復帰に向けて夜間状況の確認が必要となった方

運用 (注) 介護ロボット毎に作成すること。

開始後、Report のデータから適切なケアの提供の為、フロアごとに検証している。

【介護ロボットの導入効果】

目標に対する導入効果

- ① 眠り SCAN を使用された方の夜間における事故件数 (2 年目)
 夜間帯居室内での転倒・転落による骨折に至った事故件数は、平成 24 年～平成 29 年 6 月まで年間平均 3.4 回であったが、眠り SCAN 導入後は、平成 29 年に 1 回のみである。転倒・転落のリスクが高い方に眠り SCAN を使用したことにより減少に繋がっている (2 年目)
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
 ベッドに設置するサイドコールから眠り SCAN に変更したことにより体動等でのナースコールが減少し 1 日平均 16.5 回 (定期巡回 5 回を含む) 訪室していた方が、平均 6.6 回へ減少している。
- ③ 夜勤職員のストレス及び業務量軽減 (2 年目)
 導入以前 (平成 26 年～平成 29 年) 介護職員の退職者は平均 4.25 人であり、退職理由の約半数が労務環境によるものであった。導入後の平成 30 年度は、退職者 2 名でありいずれも引越等が理由であった。センサーマット等での訪室等により利用者様の睡眠の妨げ等が減少したことにより身体的負担や事故による精神的負担の軽減に繋がったことが退職者の減少に繋がっていると考えられる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ライフサービス)

事業所名 ((株)ライフサービスひだまり)

サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 8 月 1 日	1 台	平成 29 年 8 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊サービス利用者を中心に日中ベッドで休憩される方にも利用し、睡眠状況の確認や覚醒状態時の声掛けなど介護のタイミングなどに利用している。 ・ 宿泊については月間 2～3 日程度、日中休憩については 1 3 日程度の頻度で利用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間については利用者の見守りに対して、リアルタイムで睡眠状況（睡眠状況・呼吸数）を事務所から把握することでスタッフの心理的な負担が軽減されている。 ・ 夜間の睡眠状況（熟睡、寝不足等）を把握することで翌日日中のケアへの配慮に繋がっている。 ・ 家族への情報提供にも役立っている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (特別養護老人ホームデイパーク大府)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年10月18日	8台	H29年10月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>昼夜逆転傾向がある方、ベットからの転落や転倒の危険性の高い方、ナースコールを鳴らすことが出来ない方等について、引き続き継続して利用している。</p> <p>対象者の方の状態に合わせ、ナースコールに連動してコールするタイミングを考慮して使用している。</p> <p>また当該機器からのコールにより、活動時間や体動などを把握し、24Hシートなどに反映し、また状況変化に対しても、コールタイミングを変えるなどして、対応している。危険性の高い行動をしたときに、状況にあわせ駆けつけることができるように使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>継続しての利用により、生活リズムの把握につながり、訪室のタイミングなどが把握でき、どの時間帯がいいかなど、24Hシートにより正確な情報を反映することができ、ベットからの転倒事故など大幅に減少している。</p> <p>また職員の不要な訪室が減少し、睡眠の質も向上し、日中の活動などにも良い影響がでており、職員もご利用者の方の生活の質の向上に対して以前より検討する機会が多くなり、生活の質の改善に役立っている。</p> <p>職員も転倒事故の発生の減少と夜間における訪室回数の減少により、精神的身体的負担軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホーム豊田福寿園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りロボット		aams/アアムス		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
29年 8月 28日	1台	29年 8月 31日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りロボットを継続使用していることで、主に認知症疾患のある方の行動に対して迅速に対応できるようになり、転倒・転落のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても、呼吸状態の把握が巡視での確認とともに行え、精神的・身体的負担の軽減が図れ、日中、夜間を通し円滑な見守りができるようになってきています。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (豊田福寿園ショートステイセンター)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams/アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 8月 28日	1台	29年 8月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りロボットを継続使用していることで、主に認知症疾患のある方の行動に対して迅速に対応できるようになり、転倒・転落のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても、呼吸状態の把握が巡視での確認とともに行え、精神的・身体的負担の軽減が図れ、日中、夜間を通し円滑な見守りができるようになってきています。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (ショートステイ川名山荘)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		パラマウント株式会社 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 7 月 28 日	1 台	平成 29 年 7 月 28 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイサービス）内の眠りスキャン整備台数が 23 台となり、各ユニットに 2 台以上を配置している。 <p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。 ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。 ・睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。 ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。 ・看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。 ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。 ・利用者様の安眠が保てるようになった。 ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。 ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。 ・呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。 ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。 ・転倒の回数が減少した。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)

事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年 7月 28日	8台	H29年 7月 28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・当該導入機を含め、施設(特別養護老人ホーム・ショートステイ)内の眠りスキャン整備台数が32台となり、各ユニットに2台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況(在床・心拍・呼吸)やアラート設定(離床・呼吸や心拍の増減)した情報が自動記録できる仕組みとなっている。

<活用方法>

- ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- ・睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。
- ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- ・入所初期に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。
- ・看取り期に使用し、睡眠・心拍・呼吸状態のデータに基づいた対応を行う。
- ・認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。
- ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- ・利用者様の安眠が保てるようになった。
- ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- ・呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。
- ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- ・看取り期にデータを活用して臨終期を予測し、最期の場面の家族立会いが実現できた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステムM2 ベッドに内臓されたセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを判断し、見守りが必要な利用者の動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する。	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年9月25日	6台	平成29年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善(誤報の有無)夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、具体的に記入できるチェック表にし、毎日行っている。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>ベッドからどの位置で利用者が転倒への危険性が高くなるかを観察した時、単独のセンサーでは誤報や電源の入れ忘れ、利用者が床センサーを跨いでしまっただけでコール反応が起きないなどの現象があった。このことから、介護側のストレスも大きくなっていった。今回導入した見守りベッドは、ベッド上で利用者の動きに合わせて自動感知し、また、見守りを同時に行ってくれる事で、職員の気持ちにも余裕が持てるようになった。特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も減少し、誤報も報告されていない。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらにハード面を強化する事で、有用なロボット型ベッドとして活用することが可能である。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (リハビリ・ショートねもころ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年1月25日	1台	平成30年1月23日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>○利用者の宿泊施設利用時に使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1週間継続して計測し、睡眠状況(入眠から離床まで)のパターンを把握。その結果を踏まえ、職員の夜間での巡視や介護の対応を行った。 ・夜間入眠状況を利用者のご家族や担当のケアマネージャーへ報告した。 			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>○スタッフ間で利用者の夜間の就寝状況(居室内での徘徊、中途覚醒等)の情報共有に活用できた。</p> <p>○利用者の就寝パターンの分析によって、職員が夜間でのトイレによる起床・付き添いや体位交換(寝返り)等を行う時間の目安を計画立てることに寄与した。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 1 月 25 日	1 台	平成 30 年 1 月 23 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○施設を初めて利用される方（宿泊利用時）に使用。 利用者の家族に使用の同意を得た上で一晩の睡眠状況（入眠から離床まで）を計測・分析。 その結果を利用者の家族へ伝えるとともに、職員が夜間巡視や介護業務を行う参考とした。</p> <p>○登録利用者の宿泊中（ショートステイ）に使用 1週間以上継続して利用している方（家族等の同意を得た方）を計測し、睡眠 状況（入眠から離床まで）のパターンを分析。その結果を踏まえ、職員等の 夜間での巡視や介護の対応を行う参考とした。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○スタッフ間で利用者の就寝状況（居室内での徘徊、中途覚醒等）の情報共有に 活用できた。</p> <p>○利用者の就寝パターンの把握によって、職員が夜間でのトイレによる起床・付き添いや 体位交換（寝返り）等を行う時間の目安を計画立てることに寄与した。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人共和会)

事業所名 (共和病院)

い

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 9月29日	2台	29年 9月29日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベット上での体動が激しい利用者に使用し、モニタリングを行うことでベットからの転落防止に役立っている。 ・医療依存度の高い高齢者の状態観察が出来ている。 ・終末期の方の呼吸状態、心拍数、覚醒状況の観察が可能。頻回な訪室を実施せず、状態のモニタリングが可能である。また、急変時においても素早い対応が可能。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベット上の動きが大きい利用者については、モニタリングを行うことで、現在の状態の確認が容易になっている。特に夜間帯の状況観察において頻回な訪室が不要となった。異常時はアラーム音で早期発見が可能。素早い対応につながっている。 ・終末期の利用者の状態把握にも大きな役割を果たしている。呼吸数、心拍数の把握が出来ることにより、身体状況のアセスメントが容易になった。 ・モニタリングを行うことが出来ていることが、看護及び介護に従事するスタッフの精神的不安を軽減させている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 9 月 26 日	10 台	平成 29 年 9 月 26 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

新規入所者や行動障害が著名な入所者、終末期ケアの入所者に使用。
 ベッドマット下に敷き、24時間パソコン画面・iPad画面にデータ受信。
 行動障害の著名な入所者の場合は、主に夜間帯。
 終末期ケア・新規入所者の場合は、終日使用。
 睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングを実施。
 夜間の睡眠状況を確認し、日中の活動量を検討時活用。
 毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入所者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、従事者の精神的負担の軽減。
 行動障害の著名な入所者・新規入所者に対してもデータをもとに根拠立てたケアの提供が可能になってきた。
 データの分析内容については、ケアプランに立案、効果を確認。
 データ分析では睡眠と昼間の活動との関係性や新たなアプローチへの取り組みなどを分析し、行動障害の軽減や状況の変化が見受けられる。また離床確認など早期に対応ができ転倒予防につながっている。
 終末期ケアの入所者は変化しやすい時期であるがモニタリング可能であることから、介護従事者の巡回・見守りへの不安軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 慈雲福社会)
 事業所名 (コムネックスみづほ特定施設事業所)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 9 月 22 日	1 台	平成 29 年 9 月 22 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間フローアのパソコン画面、Ipad 画面にデータ受診される。行動障害の顕著なご利用者に夜間帯、睡眠、呼吸、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。夜間従事者の身体・精神的負担の軽減、見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の顕著なご利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となっている。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直せ、その事で行動障害の軽減も見受けられる。ご利用者の身体状況がモニタリング可能になった事で、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームウエルコートみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 9 月 22 日	8 台	平成 29 年 9 月 22 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

新規入所者や行動障害が著名な入所者、終末期ケアの入所者に使用。
 ベッドマット下に敷き、24 時間パソコン画面・iPad 画面にデータ受信。
 行動障害の著名な入所者の場合は、主に夜間帯。
 終末期ケア・新規入所者の場合は、終日使用。
 睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングを実施。
 夜間の睡眠状況を確認し、日中の活動量を検討時活用。
 毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入所者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、従事者の精神的負担の軽減。
 行動障害の著名な入所者・新規入所者に対してもデータをもとに根拠立てたケアの提供が可能になってきた。
 データの分析内容については、ケアプランに立案、効果を確認。
 データ分析では睡眠と昼間の活動との関係性や新たなアプローチへの取り組みなどを分析し、行動障害の軽減や状況の変化が見受けられる。また離床確認など早期に対応ができ転倒予防につながっている。
 終末期ケアの入所者は変化しやすい時期であるがモニタリング可能であることから、介護従事者の巡回・見守りへの不安軽減につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年9月22日	1台	平成29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間フローアのパソコン画面、Ipad画面にデータ受診される。行動障害の顕著なご利用者に夜間帯、睡眠、呼吸、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。夜間従事者の身体・精神的負担の軽減、見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の顕著なご利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となっている。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直せ、その事で行動障害の軽減も見受けられる。ご利用者の身体状況がモニタリング可能になった事で、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 清水会)
 事業所名 (まこと老人保健施設)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠り SCAN (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 8 月 10 日	2 台	平成 29 年 8 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 以下のような入所者を対象とし、ベッドに設置し入眠状況の把握を行っている
 - ・ 睡眠状態(時間や深さ)が不安定でその傾向を把握したい
 - ・ 夜間や早朝の覚醒がある、転倒や転倒のリスクが高い入所者が覚醒したことを把握したい
 - ・ バイタルサインの変化の早期発見が特に必要である(ターミナルケアなど)
- ユニットリーダーからの希望をもとに、優先順位や期間を検討し、介護役職者が使用を許可する
- パソコンに加えて、iPod(アイポッド)でもリアルタイムの観察ができるようになった。

【介護ロボットの導入効果】

- 入所者のアセスメントを行う上で重要な情報となっている
 - ・ 明確なデータがある為、医療職との連携がしやすく投薬内容や投薬時間の検討に役立っている
 - ・ ケアプランを作成する際、臥床と離床時間のバランスやタイミング、転倒、転落などの事故防止対策などの立案がしやすくなった(ケアの個別性、質の向上に繋がる)
- ターミナルケアを行う際の職員の負担軽減に繋がっている
 - ・ 夜間帯の職員配置が少ない時にも入所者の変化に早く気付くことができている
 - ・ 生体情報モニタを使用した姿と比べると見た目の印象が軽くなる
 - ※ 生体情報モニタの代用(医療機器としての使用)にはならないことは留意して使用する
- iPod(アイポッド)の導入により、二つのフロア(階)で使用できるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)
 事業所名 (老人保健施設ひまわり)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 11 月 29 日	4	平成 29 年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している（平成30年度購入分をあわせると4ユニットに各2台ずつ配置）</p> <p>①看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握 ②夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握 ③夜間の排泄パターンの把握 ④夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止</p> <p>主に上記4つの目的で活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。</p> <p>②眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。</p> <p>③離床検知システムを活用することで、排泄パターンが把握でき、排泄支援の評価に役立った。</p> <p>④ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。</p> <p>⑤終末期になると覚醒時間が短くなり水分補給のタイミングが難しいが、眠りスキャンを使用することで覚醒は把握でき、タイムリーに水分補給ができる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (東海エイド株式会社)

事業所名 (グループホームなごみや)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 29 年 12 月 7 日	2 セット	平成 29 年 12 月 7 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>平成 29 年 12 月 7 日にメーカー担当者より現場スタッフへの取扱説明を受け、導入を開始。入居者の睡眠リズムの把握に繋げるため、当該機器の効果や必要性(睡眠状態の把握、眠剤の薬効の把握、転倒転落のリスク回避など)を考慮し、ご家族への説明の後、了承を頂いた方に使用している。</p> <p>令和 2 年 3 月日中夜間に尿失禁が増えている入居者へ使用。睡眠状況及び夜間のバイタルを把握することを目的とする。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① 一時的に脈拍高いことが2日続いていることを確認できた。 →現状睡眠時の脈拍異常は2日のみで経過観察としているが、頻脈が増える際には、かかりつけ医へデータの持参行い初期相談へと繋げるための手段確保ができた。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハーラ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 12 月 6 日	3 台	平成 29 年 12 月 6 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・センサーベッド導入以前から使用しているセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドを併用し、使用。その方の状態に合わせてセンサーマット、センサーベッドを使い分け、事故防止等に努めている。</p> <p>1. センサーベッド使用者の選定。 (ベッドからの転落、転倒リスクが高い方や認知症で徘徊がみられる方に使用。)</p> <p>2. センサーベッド使用者の導入後の評価と定期的に会議を実施。</p> <p>3. 転倒、転落リスク等が高い方を再検証し、必要であればベッド変更を実施。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>・定期的に事故報告書やヒヤリハット等を活用し、事故分析を実施。各入所者の動きに合わせて通知モード(動き出し、起き上がり、端座位)を変更出来るが、上記の分析内容を踏まえ随時、動き出しモードの見直し、変更等を行い、事故防止に努めている。導入前後を比較するとベッドからの転落、転倒事故は減少している。</p> <p>・センサーベッドを活用する事で、御利用者様がベッドで動かれている時に通知があり、職員が訪室する事で、早期対応が出来、事故防止が出来ている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		カリストエール (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H29年11月28日	7	H29年11月27日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッドからの転落事故防止のため多動な利用者様に対し床高を最低床にして使用。</p> <p>重度の認知症で立位困難、耳も聞こえずナースコールの理解もなく夜間、覚醒し動き出す利用者様に使用。夜間に動き出し職員がご本人の行動を制止や制限してしまうと、理解できず大きな声のでて廊下に響き渡ってしまっていた。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ベッドを再低床にして使用することで、お尻でずり這いしながら動かされてもベッドから転落することが無くなった。また、ご本人の行動を制限することが減ったので、日常生活の中でも笑顔が多く見られるようになった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。